

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立高梁高等学校		
実践者等		小林 亮太	実践日	令和6年12月18日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		保健体育科「体育」(器械運動 マット)		
対象生徒(学年等)		2年次 器械運動選択者		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能(技術) ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化 ☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用 ☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化 ☐ その他()		
		家庭学習		
		☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 16人の選択者で3グループに分かれて活動する。 (2) 前時までに5時間程度かけて、基礎的の技から少し発展した技を一通り行う。 得意な生徒が見本を見せることや、お互いに気づいたことなどアドバイスし合うように促す。イメージと実際の動きのギャップを、体験する。 (3) タイムシフトカメラ〔遅延再生〕を用いて、遅延時間を10秒に設定する。技を行った後に『自分の姿』を客観的に確認する。イメージと実際の動きのギャップを視覚的に確認し、動きの改善に向けた対策を考える。 (4) 授業後に、選択授業ノートに振り返りを記入し、課題と改善策を整理する。				
  				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) 特になし (本時後) 特になし				